

普及活動情勢報告（令和4年5月分）

中央東農業振興センター嶺北農業改良普及所

ハウレンソウの雑草対策 ～嶺振農業部会実証ほ設置～



バスアミドを散布する
大豊ゆとりファーム職員

3月25日、4月20日、普及所など農林業関係機関と農業団体で組織する「嶺北地域農林業振興連絡協議会農業部会」は、ハウレンソウの雑草対策のためのバスアミド処理の実証ほを大豊ゆとりファームのほ場2か所で設置しました。

メーカーの協力を得て、散布方法の実演を行った後、大豊ゆとりファームの職員が散布を行いました。散布した職員からは、「思っていたより簡単に散布できた。雑草によって出荷調製に時間がかかっていたので、効果があったら嬉しい」との声が聞かれました。

今後普及所は、農業部会の一員として雑草対策での効果を確認し、ハウレンソウでの防除体系の改善につなげていきます。

新たな取り組みで病害対策を ～米ナス部会現地検討会～



常温煙霧の実証ほでの
現地検討会

4月26日、JA高知県れいほく園芸部米ナス部会は現地検討会を開催し、部会員10名が参加しました。

JAからは、常温煙霧やイオウ粉剤の使用について紹介がありました。常温煙霧の実証ほでは実際に稼働し、参加者に試験の主旨や目的を説明しました。

普及所からは、湿度低下による黒枯病対策や曇雨天時の栽培管理とともに、米ナス栽培での経費の現状について説明しました。

参加者からは燻煙剤の使用時期や防除にかかる経費などについて多くの質問が出され、活発に意見交換が行われました。

今後も普及所は、生産者の収量・所得の増加につながるよう、JAと連携して栽培・経営指導を行っていきます。

れいほく八菜を通じて地域の農業を知ろう ～今年も小学校へ野菜菜苗を提供～



れいほく八菜の野菜苗を
説明する農業部会員

5月6日と9日、普及所など農林業関係機関と団体等で組織する「嶺北地域農林業振興連絡協議会農業部会」が嶺北地域の全小学校5校に、地域を代表する野菜「れいほく八菜」である米ナス、ミニトマト、カラーピーマン、シシトウの苗を配布しました。

この取組は農業や地域への関心を高めることを目的に実施しています。今後、野菜づくりの過程を観察することや収穫した野菜を家庭で味わうことで、嶺北地域の農業について考えるきっかけになることを目指しています。

今後も普及所は、農業部会の一員として、就農の意欲喚起を図り地域の農業の振興に尽力します。

より良い酒米生産を目指して ～酒米実証ほ設置～



苗の状態を確認しています

5月19日、普及所は本山町内で酒米実証ほを設置しました。

実証ほでは、品種特性に対応した施肥方法の検討を行う計画で、あらかじめ施肥量を違えて準備した田に、生産者と一緒に栽植密度や苗の状態を確認しながら田植えを行いました。

今年は、雨が少なく圃場の準備に時間がかかったことや、育苗期間中の気象条件の変化が大きかったことで、作業の遅れが心配されましたが、概ね予定どおりに実証ほ設置を行うことができました。

今後、普及所では生産者と連携をしながら、実証ほの調査を進めていく予定です。